

鳥取県地震

2021年（令和3年）11月

鳥取地方気象台

目次

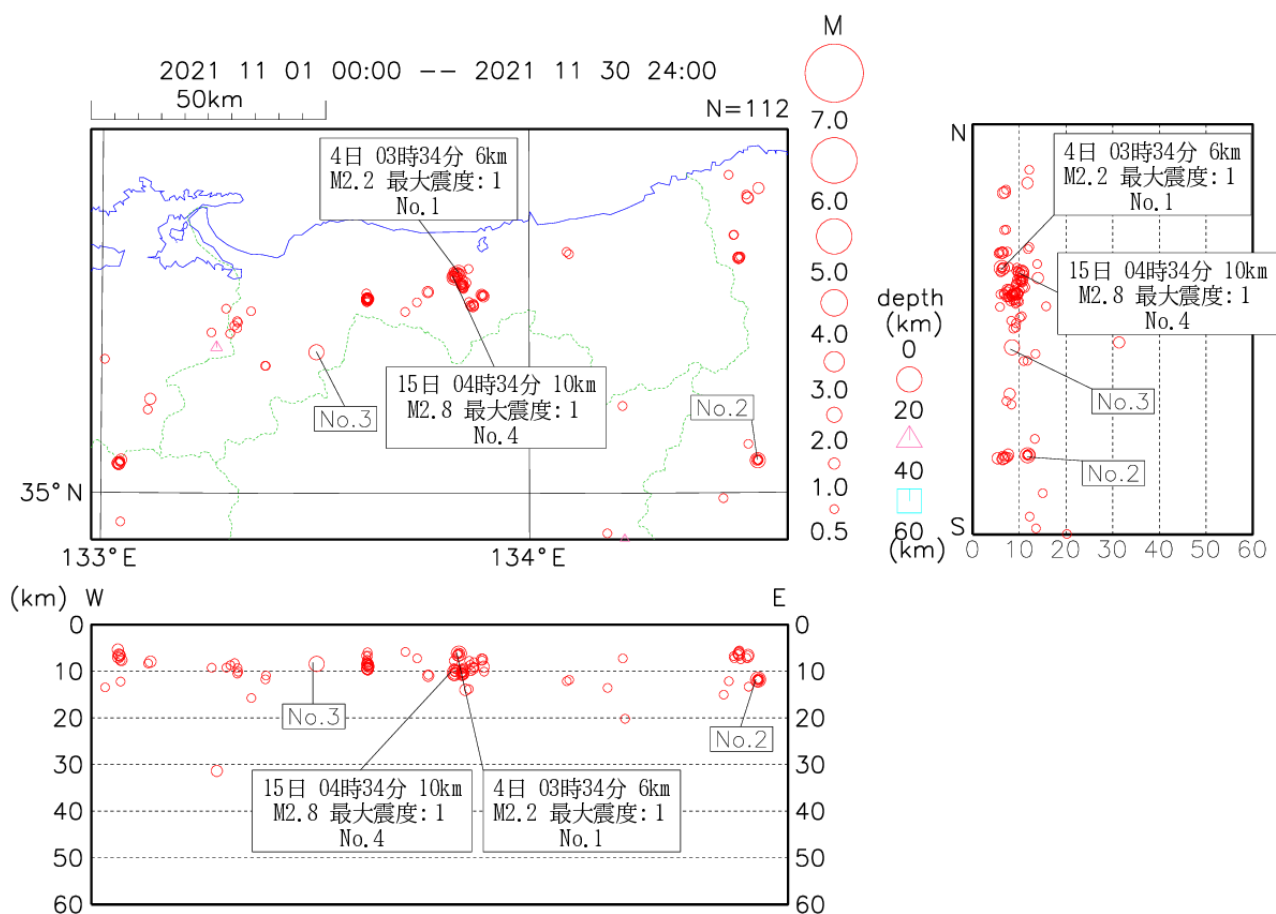
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	2
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
インターネットを用いた気象庁による情報提供	4

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2021 年 11 月に鳥取県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 3 回（先月は 1 回）でした。

4 日 03 時 34 分 鳥取県中部の地震（深さ 6km、M2.2）により、鳥取県倉吉市で震度 1 を観測しました。

14 日 23 時 23 分 播磨灘の地震（深さ 14km、M4.0、図の範囲外）により、兵庫県洲本市・南あわじ市で震度 3 を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度 2 ～ 1 を観測しました。鳥取県では鳥取市で震度 1 を観測しました。

15 日 04 時 34 分 鳥取県中部の地震（深さ 10km、M2.8）により、鳥取県湯梨浜町・北栄町で震度 1 を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は 4 回（前月も 4 回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2021年11月1日00時00分～2021年11月30日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2021年11月04日03時34分	鳥取県中部	35° 25.4' N	133° 50.0' E	6	2.2	1
2	2021年11月07日23時01分	兵庫県南西部	35° 3.7' N	134° 31.9' E	12	2.0	—
3	2021年11月09日05時53分	鳥取県西部	35° 16.2' N	133° 30.1' E	8	2.0	—
4	2021年11月15日04時34分	鳥取県中部	35° 24.9' N	133° 49.5' E	10	2.8	1

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

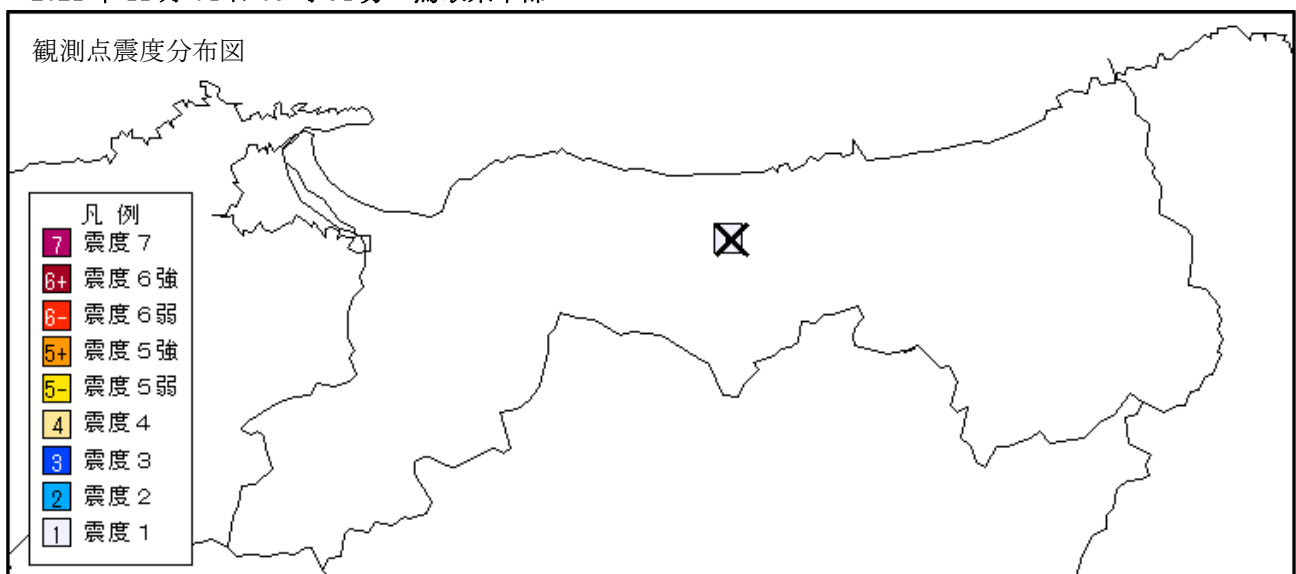
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2021年11月04日03時34分	鳥取県中部	35° 25.4' N	133° 50.0' E	6km	M2.2
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 倉吉市葵町*					
2021年11月14日23時23分	播磨灘	34° 22.6' N	134° 39.9' E	14km	M4.0
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市吉方					
2021年11月15日04時34分	鳥取県中部	35° 24.9' N	133° 49.5' E	10km	M2.8
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 湯梨浜町龍島*, 北栄町由良宿*					

*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

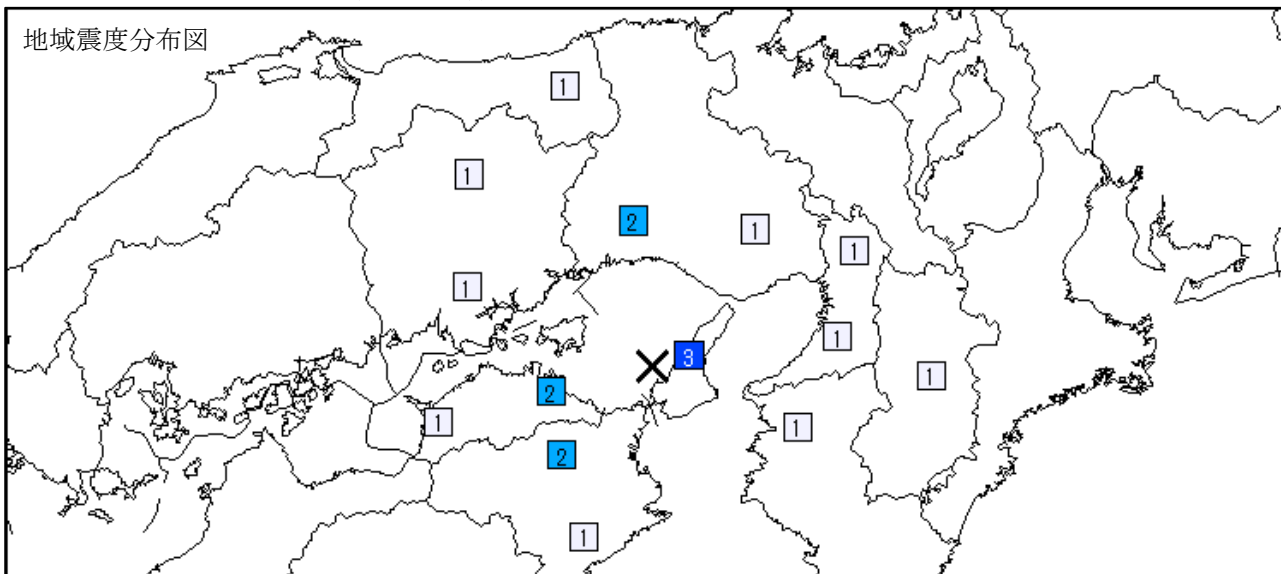
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2021年11月04日03時34分 鳥取県中部

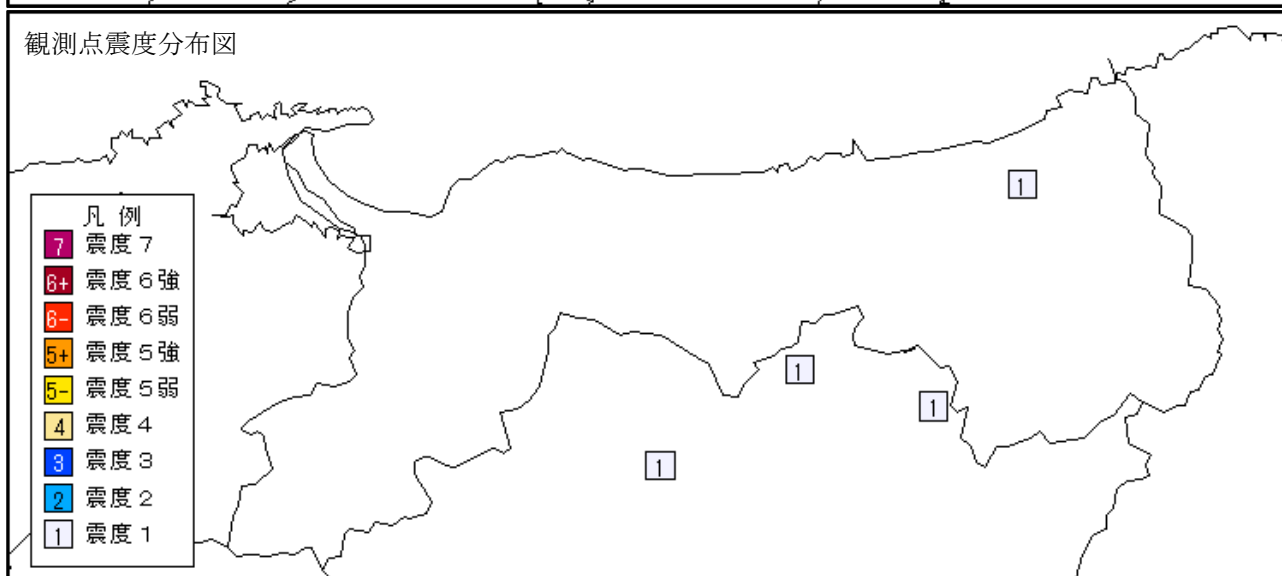


2021 年 11 月 14 日 23 時 23 分 播磨灘

地域震度分布図

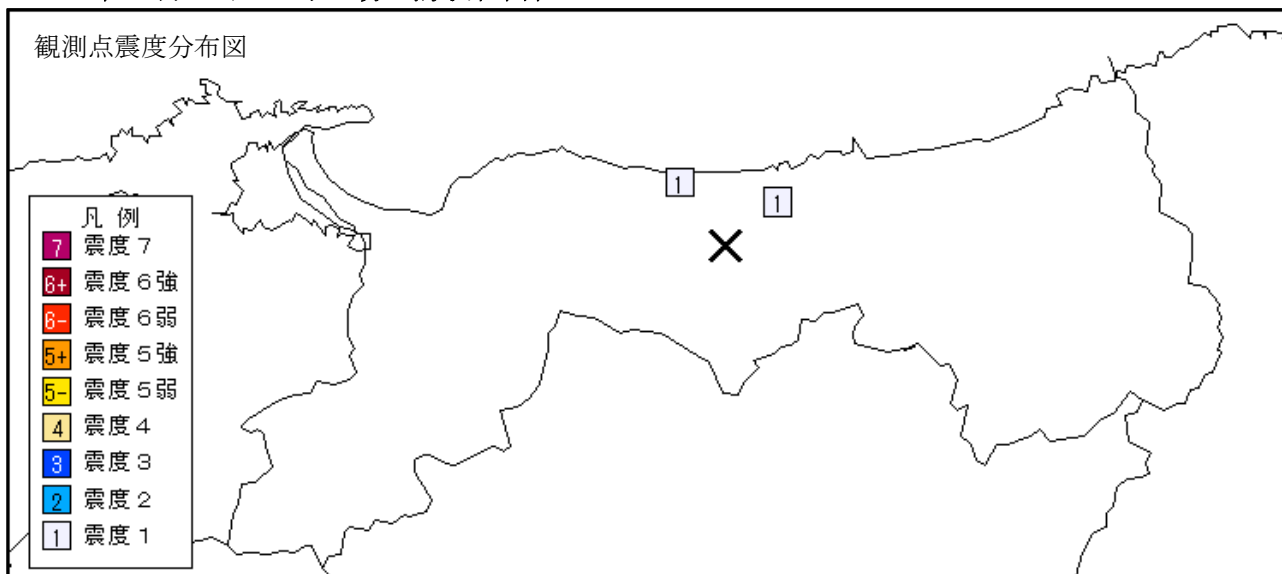


観測点震度分布図



2021 年 11 月 15 日 04 時 34 分 鳥取県中部

観測点震度分布図



(3) 地震・津波の知識

インターネットを用いた気象庁による情報提供

平成の中頃まで、気象庁の発表する防災気象情報は基本的にテレビやラジオ、新聞、自治体の防災行政無線、177 を始めとする電話サービス等、間接的な手段に頼って住民の皆さんにお伝えしていました。しかし、今日ではインターネットにより、気象庁から防災気象情報をはじめとする様々なコンテンツを、皆さんへ直接お届けすることができるようになっています。

インターネットが日本で活用され始めたのは 1990 年代の前半で、商用インターネット接続サービスの開始などを契機として個人ベースでの情報交換が行われていました。1995 年 1 月 17 日に発生した兵庫県南部地震において、通信手段としてインターネットが有効活用されたことがきっかけとなって大きな注目を集め、また 20 世紀末にはブロードバンドサービスが開始され、携帯電話の登場とも相まって爆発的に普及していきました。国の機関のウェブサイトも次々と開設され、広報手段として活用され始める中、気象庁も 2002 年 8 月に気象庁ホームページを開設し防災気象情報などの提供を開始しています。その後も数度にわたって改良をおこなっていき、中央官庁の中では突出してアクセス数の多いウェブサイトとなっています(図 1)。



図 1 現在の気象庁ホームページのトップページ

2017 年には気象庁が発表した防災気象情報や観測して得たデータ等を、気象庁 HP で公開されている更新情報をもとに事前登録なしで直接ダウンロードし活用できる高度利用者向けサービスも開始しています。

また、2015 年 1 月には Twitter に「気象庁」アカウント(@JMA_kishou)を、2018 年 10 月には防災情報専用のアカウント(@JMA_bousai)を開設し、Twitter 上でフォローしていただくことで、プッシュ型の情報提供が可能となりました(フォローする際は、Twitter がそのアカウントを本人のものであると確認したという証拠のマーク[認証バッジ]を確かめてから行って下さい)。

更に、2020 年 3 月に YouTube でチャンネルを開設し、地震や津波、風水害などにより災害が起きる恐れのある際に行っている緊急記者会見のライブ中継や、防災に関する普及啓発コンテンツの配信を開始しています(図 2)。



図 2 中継中の会見の様子

こうした SNS を活用した防災情報の発信を積極的に行っていくことで、住民の皆さんに気象庁が抱えている危機感を直接伝達し、避難の必要性について判断いただく機会を増やしていきたいと考えていますので、以下のリンクへアクセスしてフォロー・登録をお願いします。

(リンク集)

- 気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

- ▶ Twitter 気象庁アカウント : https://twitter.com/JMA_kishou

- ▶ Twitter 気象庁防災情報アカウント : https://twitter.com/JMA_bousai

- ▶ YouTube 気象庁/JMA :

<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>

- ▶ YouTube 気象庁/知識・解説 :

<https://www.youtube.com/channel/UCODH6XDH1L618u3pOoFd-A>

- 気象庁：気象データ高度利用ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/developer/index.html>

※上記の YouTube や Twitter アカウントには、気象庁ホームページの先頭やスマートフォン用ページの下に表示されている、以下のボタンからもアクセスできます。



そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和3年 11 月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

U R L <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313